作词：東ノ獄彩

作曲：浩川卿中二

知恵の林檎が 虚言語る牢獄で

智慧的苹果在 牢狱中诉说谎言  
告げる 鐘のう声を待つ

静待着 昭告终结之响钟的嘲笑声  
きペヱジ 描き出すその面影は

纯白的纸面上 所勾勒的那个面容是  
闇に咲いた

黑暗间绽放的 秘密之花

触れて 其の名を問えば

轻触花瓣 问其名讳  
紅きが 禁忌の言葉に触れて

血红的眼睑正 感受着禁忌之言语  
今 開く

此刻 开眼

L'inizio!  
ゆらす

轰动摇篮的雷鸣  
覚醒に 騒ぐ鼓動の Choir

是唤醒 心间骚动的 Choir  
夢魔の手招 秘密のが

梦魔的招手 秘密的娇声  
頬を染め上げて

使脸颊染上绯红  
Violenza

いの翼 導かれた迷宮で

迷茫的双翼 于迷宫在指引着  
追憶するは 髪に触れた指先に

追忆起曾经 穿过秀发的指尖  
溢れる吐息 慕うが名をべば

满溢的吐息 若以思慕灵魂召唤其名  
蘇る

幻影 随之复苏

其の手を引いて みせよう

执其手一同 缔结誓言吧  
紅き 契のに揺らし

朱红的双唇 以契约之形抖动着  
今 開く

此刻 开始

「裁キヲ……」

“制裁……”

Silenzio!  
戯れのは彼方

游戏时刻已逝远方  
揺れる瞳 誘い込む Unisono

摇曳眼眸 引诱一同 Unisono  
鼓動爪弾く 甘美の獄に

拨动着心跳 甜蜜的牢狱间  
今 貴方は踏み入った

如今 尔已经踏入此中

L'inizio!  
のは上がった

剧场的帷幕已然升起  
 賭しておう Aria

以生命之火为赌注 讴歌 Aria  
この 汚れても

纵使此业力 沾尽污秽  
そう 高潔抱いて

仍旧 心怀高洁  
Con grazia

沈黙の戒律は、

沉默的戒律，  
抑えきれぬに破られた。

被抑制不住的情绪所冲破。  
其のいに煉獄を渡れと命じるなら、

倘若命吾穿越炼狱为其赎罪代价，  
如何様にも従おう。

千刀万剐悉听尊便。

然し傍観者よ！

然而旁观者啊！  
この深淵に咲く華を、

在此深渊怒放之花，  
貴殿らに裁くことは出来無い。

岂是尔等能够肆意裁决的。

我を裁き

可审判我

（私ニ触レ）

（可抚摸我）  
我を罰し

可惩罚我

（私ニ囁キ）

（可私语我）  
我を許すのは

足以赦免我的

（私ニ微笑ムノハ）

（对我报以微笑的）

そう、あの人だけだから…

没错，唯有那一位…

Canizza!  
喝采を示せ仔羊

以示喝彩的众羔羊  
 朽ちて消えても

纵使 生命之火 燃烧殆尽  
この 迷わずに

此魂 亦矢志不移  
そう 貴方と廻り続ける

便是 与你永世轮回谱写  
Rapsodia

以花为饯  
散らして

四散飘絮  
おう

微笑作别